

アイヌの祭儀と日本

～陰陽道・修験道などとの関係をめぐって～

- ◇講師 瀬川 拓郎氏 (せがわ たくろう)
- ◇日時 平成26年9月13日(土) 午後2時～4時
- ◇会場 かでる2・7ビル5階 520 研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

《要旨》

アイヌは農耕や住居形式といった古代の日本文化を積極的に受容し、祭儀についても大きな影響を受けたと考えられています。しかし、それが具体的にどのようなものであったのか、論じられたことはほとんどありません。アイヌの祭儀や信仰のなかにうかがわれる日本の影響とその背景について、考古学や民族誌から考えます。

《プロフィール》

- ・1958年 札幌市生まれ。
- ・ 岡山大学卒業。博士(文学・総合研究大学院大学)、専門は考古学
- ・ 現在 旭川市博物館館長

《主な著書》『アイヌの歴史』『アイヌの世界』(ともに講談社選書メチエ)、『コロポックルとはだれか』『アイヌの沈黙交易』(ともに新典社新書)、『アイヌ・エコシステムの考古学』(北海道出版企画センター)。その他共著書・論文多数。

- 受講料 700円(保護協会会員500円)
- 申込方法 電話・FAX・メールで事前申込が必要 定員90名(定員になり次第締切)
- 申込先 北海道文化財保護協会事務局
- 電話・FAX 011-271-4220
- Eメール bunho@abelia.ocn.ne.jp

主催 北海道文化財保護協会

